

「明日への希望」

文明には限界がある。豊かさにも、便利さにも、贅沢にも限界がある。文明は、ほどほどでよい。科学を越えた大きな自然の中に私たちがいることを考え暮らしを行かないと、人類の未来はない。宇宙の驚くべき恩寵に感謝して、明日に希望をもって、精一杯生きていこうではないか。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

6月10日は時の記念日です。日本で初めて時計による時の知らせが行われたことを記念して制定されました。過去と現在、未来という時の尊さに思いを馳せるのもよいのではないのでしょうか。

今年度、聖愛会3園では「みんなで考えるSDGS」未来のために～をテーマに設け取り組みを始めています。SDGSとは持続可能な開発目標の略で、地球を守る為に国連が2030年までにやるべきと定めた世界共通の17の目標です。子どもたちを取り巻く様々な環境に目を向け、自ら体験し、五感を通して自然の素晴らしさや美しさに心動かされたり、恵みに感謝の気持ちを持つよう心の育ちを大切にしていきたいと思ひます。また、どう考え、どう行動するのかを主体的に考え行動できるかの土台となるよう、一緒に考え学びながら進めていきたいと思ひます。成長した子どもたちの住む世界が、笑顔と希望と優しさで溢れていますようにと願いを込めながら、小さな1歩が未来への大きな1歩となりますよう、是非ご家庭でも出来ることから取り組んでみてはいかがでしょうか。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

6月聖句

野原の花がどのように育つかを考えて見なさい。

ルカによる福音書 12章27節

6月主題

「なにかな」0歳

- ・保育者の祈る姿に接する。
- ・周りの人や物に興味をもち、関わろうとする。
- ・小動物や自然に触れて遊ぶ。

「きづく」1・2歳

- ・保育者の祈りのことばに心を合わせようとする。
- ・まわりのように気づき、興味関心をもつ。
- ・見たこと、感じたことをことばで表そうし、共感してもらえる喜びを味わう。

～子どもたちの姿～

雨の間に差し込む日差しや暖かさに、初夏の訪れを感じるこの頃。今年度は「みんなで考えるSDGs」未来のために～を大きなテーマにサブテーマとしての「環境」に目を向け活動を始めました。子ども達と土を柔らかくするため手で揉んだり混ぜ合わせたりしました。5月初旬にはへちまやそうめんかぼちゃ、赤しそなどの種を見比べ「小さい」「これは黒い」「丸い」「白が一番大きい」など大きさや形の違いにも気付き興味深げに触れていました。種まきを経験したことがある子は、土に指で穴を空け種を入れたり土を上上に被せたりと積極的に活動していました。水やりをしながら「大きな一れ」と願いを込め、成長を心待ちにし、芽が出た時には大きな声で「ちっちゃな葉っぱが出たよ」と嬉しそうにみんなに知らせていました。子どもたちの気付きを大切にしながら好奇心や探究心など育てていきたいと思ひます。



	月	火	水	木	金	土	日
6月の予定表		1	2	3	4	5	6
	7 身体測定	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21 避難訓練	22	23	24	25	26	27
	28 誕生日会	29	30	31 クレイシュ通信			

◎暑い日もありますので、着替え袋の中に薄手の下着や半袖の衣服の用意をよろしくお願いいたします。